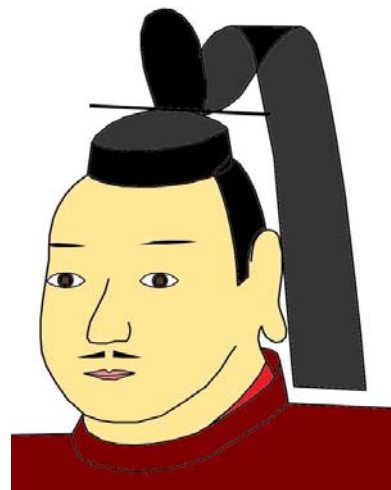


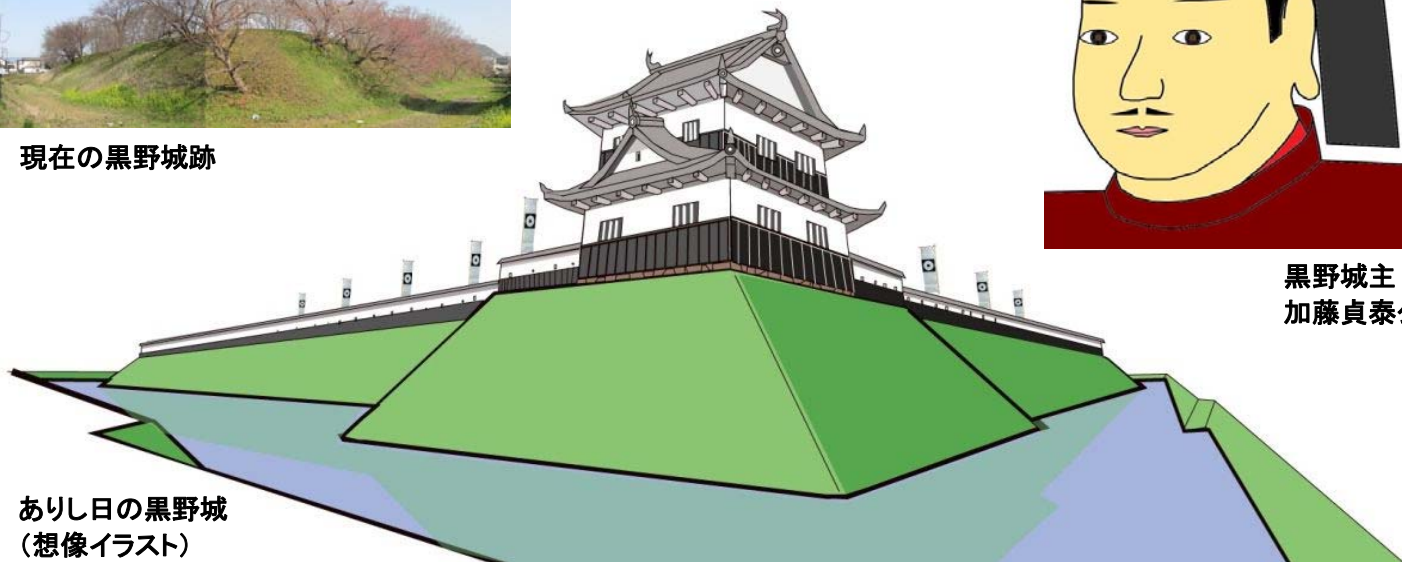
● 黒野城と 加藤貞泰公研究会



現在の黒野城跡



黒野城主
加藤貞泰公



ありし日の黒野城
(想像イラスト)

会報 甦る! 黒野城

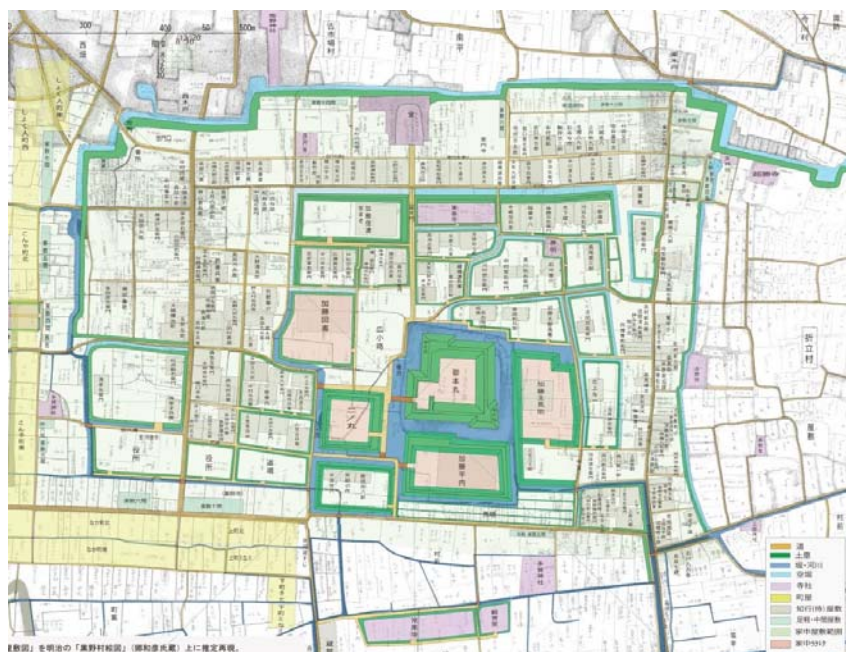
会長より
ご挨拶



黒野城と加藤貞泰公研究会が発足して早5年目に入りました。これまで数々の活動・業績を残してきましたが、この度、会報「甦る! 黒野城」創刊号を発行致しました。不定期発行ではありますが、これから研究会の活動内容や成果などを掲載していきますので、今後ともよろしくお願ひします。

会長 郷 孝夫

2014.09 vol. 1



ありし日の黒野城下町 推定図 (1594~1610)

○黒野城跡・本丸の発掘について

現在の黒野城・本丸(南東隅から撮影)

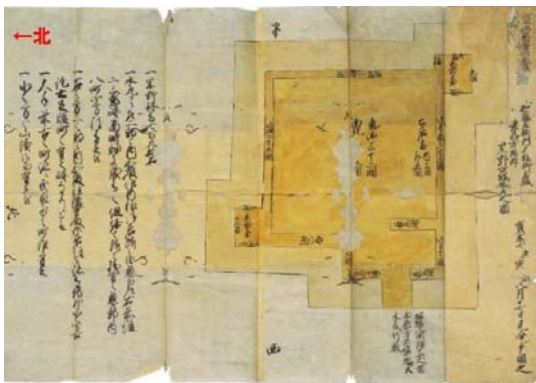


黒野地区のほぼ中心部に存在する黒野城跡の本丸の土塁と堀は、かつて豊臣時代末期から江戸時代初期に加藤貞泰公がわずか16年程の間この地を治めていたときの拠点でした。西暦1594年～1610年の治世でしたが、その後加藤家が米子に転封されると城門・櫓等は移築・破却等され、わずかに土塁と堀が残る程度になりました。

しかし、一般的には江戸期に廃止となった城(岐阜城など)は幕府の命令によりほぼ跡かたもなく消滅してしまうのが通例ですが、幸いにも黒野城跡は土塁・堀の他に街の区画等が現在まできれいに残されている稀な例と言えるでしょう。これら貴重な文化財をぜひとも後世にも残していきたいものです。

本丸跡は昭和30年代に市指定史跡に認定され、広く一般市民にも開放されてからは少年野球のグラウンドや各種イベント会場にも利用され、まさに黒野地区の憩いの場としての役割を果たしてきました。そのような場に近年は発掘調査も開始され、北西隅櫓跡や虎口跡(外樹型城門跡)などが対象となり、かつて存在していたであろう石垣の列と思われるような遺構の発見がなされました。

本丸跡については、江戸時代の絵図面の他に、明治から昭和の時代にかけて様々な文献等に描かれており、その全体的な形状は概ね変わっておらず、それだけ保存状態が良好であったことがわかります。



古図2 宝永7年(1710)「黒野古城本丸之図」
岐阜県図書館蔵



古図6 御本丸
江戸時代後期～明治初め頃
黒野城下家中屋敷図の部分
玉木和廣(英治)氏蔵



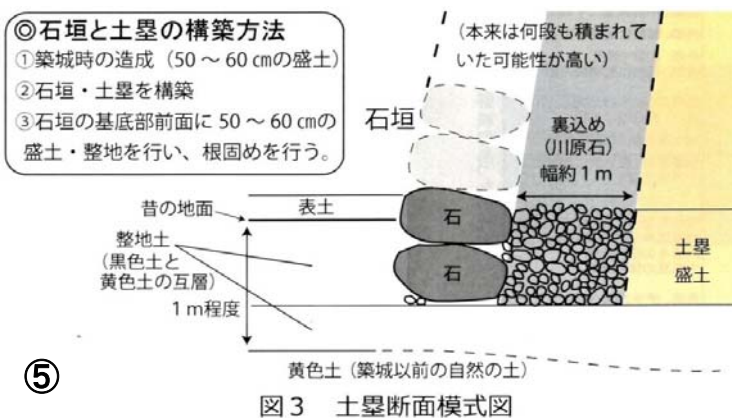
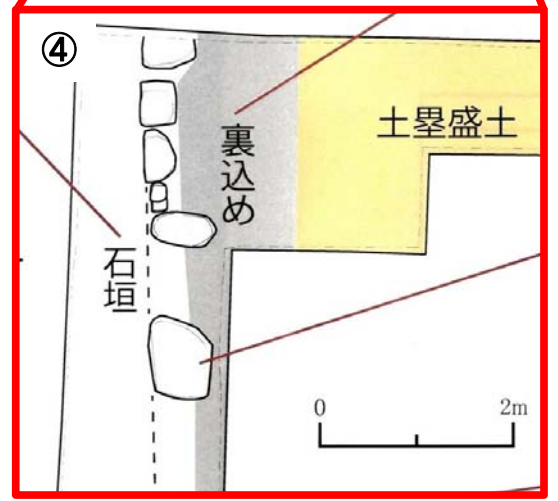
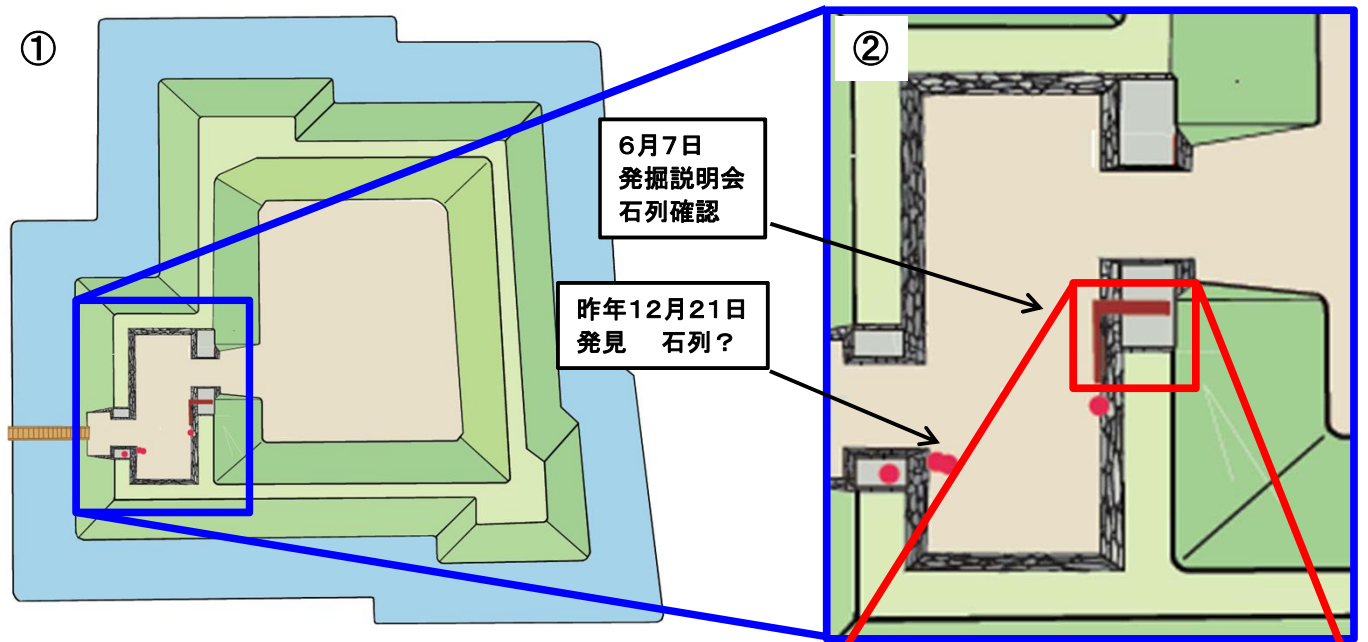
古図12 昭和14年(1939)
「黒野村土地宝典」より部分
堀と土塁の輪郭が「古図2」の原形
に近い測量地図である 筆者所蔵

上記3図ともに当研究会資料「黒野城跡本丸の研究」より引用

昨年の12月に本丸跡の排水工事において、虎口跡(本丸トイレ東及び前付近)から砂岩の石列らしきものが発見されました。石列は南北に2本確認され、状況から考察すると、虎口内側及び城門内側の石列ではないかと考えられます。



左:本丸トイレ東を掘削中
右:南北の石列を発見



上記①～②：当研究会資料「黒野城跡本丸の研究」より引用
 上記③～⑥：岐阜市教育委員会 発掘資料より引用

工事で発見されたトイレ東側より北へ延長上の位置において発掘調査が行なわれ、ほぼ同じ高さ・同じような砂岩の石列 及び 裏込石 (奥行1m程度に川原石) が発見され、6月7日に岐阜市教育委員会の現地発掘説明会が開催されました。そこでは2段分の石列が確認できましたが、おそらく3段目から上段にかけては廃城後に撤去され、廃棄または他城 (加納城等) に転用された可能性が考えられます。

今まで古図には、石垣等が描かれたり文字で書かれた記録がありませんでしたが、今回の石列の発見により、少なくとも虎口には石垣が築かれていた可能性が非常に高いことがわかりました。城郭研究専門家の中井均氏は、織豊系城郭で定型化する樹型が岐阜県内で明らかになった意義は大きいとコメントされています。

○発足してから今までの主な活動内容について

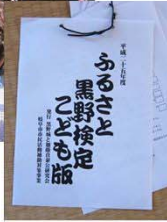
まとめてみました。 ～ダイジェスト版～



総合案内板除幕式 平成25年8月6日黒野城跡

市民活動支援事業及び寄附金活動において、黒野城跡及び城下町に総合案内板や説明板を設置しました。(平成25年8月)
(写真は製作費を新日本ガス(株)様寄附)

「ふるさと黒野検定こども版」を発行し、黒野小学校 4・5・6年生を対象に実施しています。



年 組 名前 () H' 25. 12. 3
(回収日 12月10日)
担当者 郷孝夫 郷和彦

第10回(最終回)「ふるさと黒野検定こども版」
次の問91～問100について、正しいと思う番号(1～3)を口のなかに書いてください。

問91. 黒野にやってきた殿さまは、次のどれですか。
1. 加藤貞泰 2. 加藤清正 3. 斎藤道三 91

問92. 黒野に殿さまがやってきたのは、次のどの時代でしたか。
1. 鎌倉時代末期 2. 安土桃山時代末期 3. 江戸時代末期 92

問93. 黒野城に殿さまがいたのは、約何年間でしたか。
1. 15年間 2. 25年間 3. 35年間 93

問94. 黒野城は、今から約何年前にできましたか。
1. 約210年前 2. 約410年前 3. 約610年前 94

問95. 黒野のお殿様が国替えになったお城は、次のどこですか。
1. 岐阜城(岐阜県) 2. 宇和島城(愛媛県) 3. 米子城(鳥取県) 95



黒野城武将隊の結成
昨年の市民運動会に参加しました。



紙芝居 第1弾・第2弾
制作・上演

歴史講座の開催



平成25年度
岐阜市景観賞 受賞
(まちづくり活動部門)

～その他～

- * 黒野城内美化活動 (草刈り・ゴミ拾い等)
- * 黒野城下町の案内及びウォーキング
- * 研究会発表 (隔月開催)
- * 古文書研究 (資料整理・解説、毎月開催)
- * 黒野城下町散策マップの継続発行
- * 黒野城リーフレットの継続発行
- * くのアンパン・しろのアンパンの開発・販売
- * 愛媛県大洲史談会、他団体との交流活動

問合せ・連絡先

E-mail : kurono_jyo@yahoo. co. jp TEL : 090-1786-6564 河口 耕三
(発行者: 郷 孝夫、 編集者: 戸川 文男、 篠田 哲郎)